

## 研究機関名：旭川医科大学

承認番号	19189
課題名	旭川医科大学病院における苦痛のスクリーニングの取り組みと課題
研究期間	倫理委員会承認日～ 2022年 3月 31日
研究の対象	2018年4月1日～2019年3月31日までの期間に、旭川医科大学病院で苦痛のスクリーニングを受けられた方（旭川医科大学病院の苦痛のスクリーニング用紙「からだや気もちの症状に関する質問票」に記入された方）
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：苦痛のスクリーニングの全実施数、痛み・だるさ・眠気・吐き気・食欲不振・息苦しさ・気分の落ち込み・不安・全体的な調子・その他・気持ちの状態の項目のNRS4以上の陽性数、部署別実施数、専門的緩和ケア相談件数、院内連携の件数、病気の種類、病期、性別、年代、生活で困っていること、病状や治療についての気がかりの内容） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究の意義、目的	<p>2014年から、がん診療連携拠点病院では、がん患者にからだやこころのつらさが無いかなどの苦痛のスクリーニングを行い、苦痛がある場合には適切に対応し、がんと診断された時からの緩和ケアの推進を行うことが指定要件となりました。旭川医科大学病院でも院内で統一した「からだや気もちの症状に関する質問票」を用いた苦痛のスクリーニングを実施しています。これまでの調査で、苦痛のスクリーニングを受けた半数のがん患者が何らかの苦痛を抱えていることがわかっています。そこで、がん患者が抱えている苦痛の具体的内容と苦痛のスクリーニングを活かした院内連携の現状を明らかにし、適切な対応が早期から効果的に行える院内連携体制の構築につなげたいと考えています。</p>
研究の方法	<p>① 苦痛のスクリーニング実績（全実施数、痛み・だるさ・眠気・吐き気・食欲不振・息苦しさ・気分の落ち込み・不安・全体的な調子・その他・気持ちの状態の項目のNRS（Numerical Rating Scale：「患者が感じている痛み」を数字で評価するための指標で、11段階の数字を用いて痛みのレベルを示してもらう方法）4以上の陽性数、部署別実施数、専門的緩和ケア相談件数、院内連携の件数、病気の種類、病期、性別、年代）を集計（延べ件数）し分析します。</p> <p>② 上記対象患者の中で、「からだや気もちの症状に関する質問票」に記載された、生活で困っていること、病状や治療についての気がかりの内容を集計し内容の分析を行います。</p>
その他	

お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：研究責任者</p> <p>所 属：〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1 旭川医科大学病院 緩和ケア診療部 副看護師長</p> <p>氏 名：尾崎 靖子</p> <p>電話番号：0166-69-3220</p>
---------	---